



上越市は今年、合併20周年

現在の上越市は、2005年（平成17）1月1日、全国最多となる14市町村の合併によって誕生しました。市ではこれまで、社会情勢の変化などに柔軟に対応しながら、暮らしやすく魅力あふれるまちづくりに取り組んできました。今後も、誰もが将来の夢や希望に向かって安心して暮らせるまちを目指し、市民の皆さんと一緒に歩みを進めていきます。

■問合せ…総務課（☎025-520-5602）

合併20周年 上越市の今



まちの拠点性が向上

- 北陸新幹線「上越妙高駅」の開業と敦賀延伸により、**首都圏・関西圏との往来が一層便利**になりました。新潟県の西の玄関口として、上越地域の観光・ビジネスの拠点となっています。
- うみがたり、歴史博物館、オーレンプラザ、ジムリーナや県立の謙信公武道館などが整備され、さまざまな交流の拠点となっています。
- 直江津港には2つの火力発電所とLNG基地が完成し、従来からの**物流拠点としての役割**に加え、**国内の重要なエネルギー港湾**として経済活動や人々の暮らしを支えています。



地域主体のまちづくりが進展

- 地域自治区制度が市全域に導入され、地域協議会やまちづくり団体などが中心となって、**各地域の特性を生かしたまちづくりが進んでいます**。
- 育児や介護・福祉に関する相談体制の拡充や住民組織などによる高齢者の支え合いなど、**身近な地域における支援体制の整備が進み、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの取り組みが広がっています**。
- 町内会などを単位とした自主防災組織の結成率が98.6%（世帯数ベース）に達し、**災害に強いまちづくりの取り組みが進んでいます**。



多様な魅力の発信と次の世代への継承

- 米をはじめとするさまざまな農産物や特産品、独自の技術で生み出される工業製品など、このまちの**歴史・文化や気候・風土に根差した魅力ある産品**が生まれ、**広く発信する取り組みが進んでいます**。
- 市民の皆さんが心のよりどころとする文化財を上越市「地域の宝」として認定し、国・県・市指定文化財とともに**保存・活用しながら、次の世代に継承していく取り組みが進んでいます**。

